

# 都内主要繁華街における 滞留人口モニタリング

東京都医学総合研究所  
社会健康医学研究センター

# 東京都内・主要繁華街 滞留人口モニタリング (2月6日までのデータ分析：要点)

## 【直近の繁華街滞留人口の状況】

- 夜間滞留人口：夜間滞留人口（18-24時）は、3週連続で減少し、昨年同時期の緊急事態宣言中の平均水準を大きく下回る。昨年末の高水準からは41.8%減少。重点措置適用後の2週間でハイリスクな深夜帯の滞留人口は約30%減少。
- 昼間滞留人口：前週からわずかに増加（前週比1.9%増）。特に、夕方16～18時の滞留人口が増加。
- 夜間滞留人口・世代別占有率：引き続き、中高年層の占める割合が最も高いものの、前週から若年層の割合がやや増加。
- 繁華街別夜間滞留人口：銀座・六本木・新宿二丁目・池袋で減少。渋谷・歌舞伎町は横ばい～微増。上野は増加。

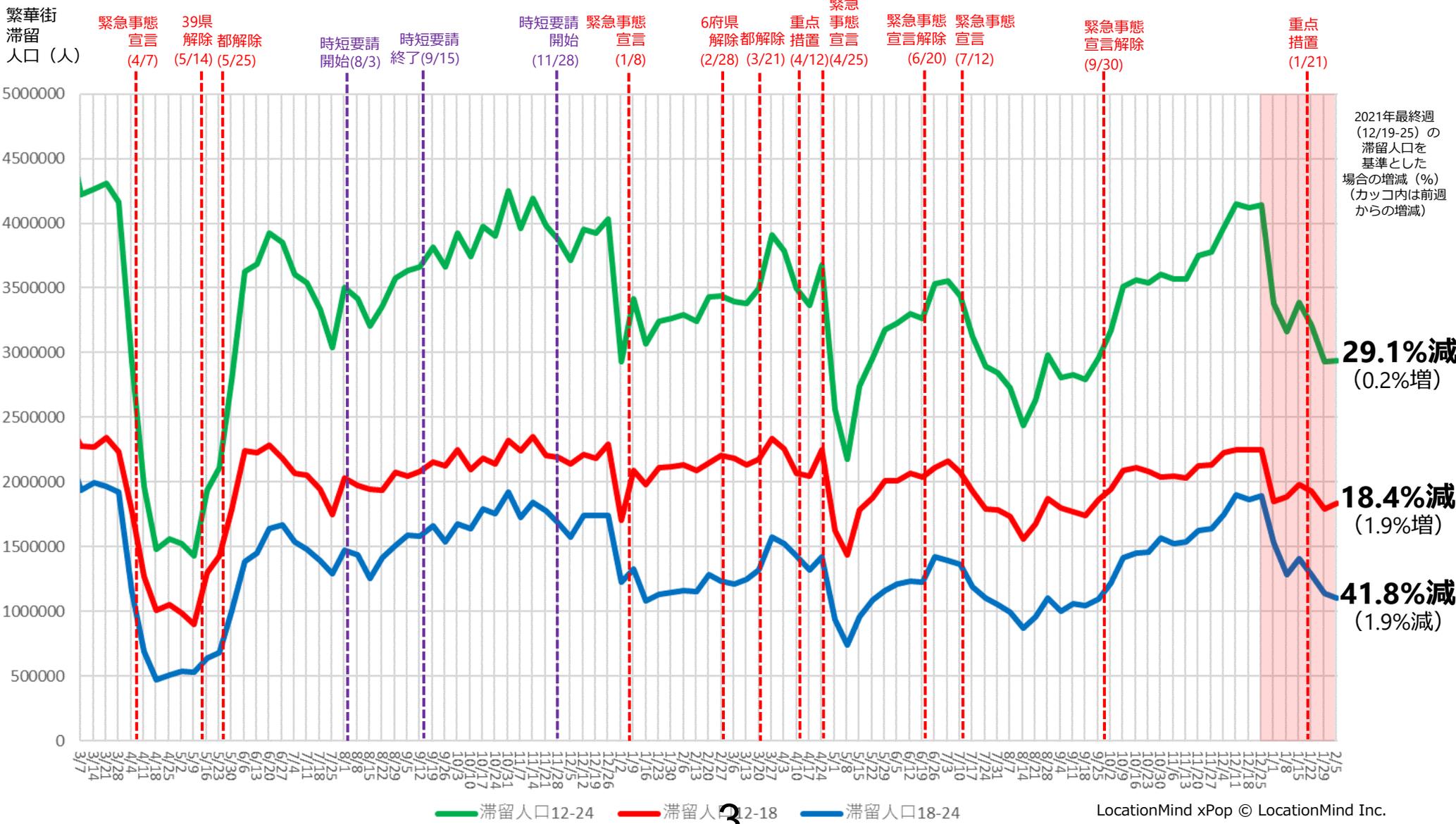
## 【ステイホーム指標】

- 居住地から5キロ圏内、3キロ圏内のステイホーム率は、56.4%（前週比：0.8%増）、47.8%（前週比：0.9%増）。重点措置適用後、2週連続でステイホーム率は上昇。

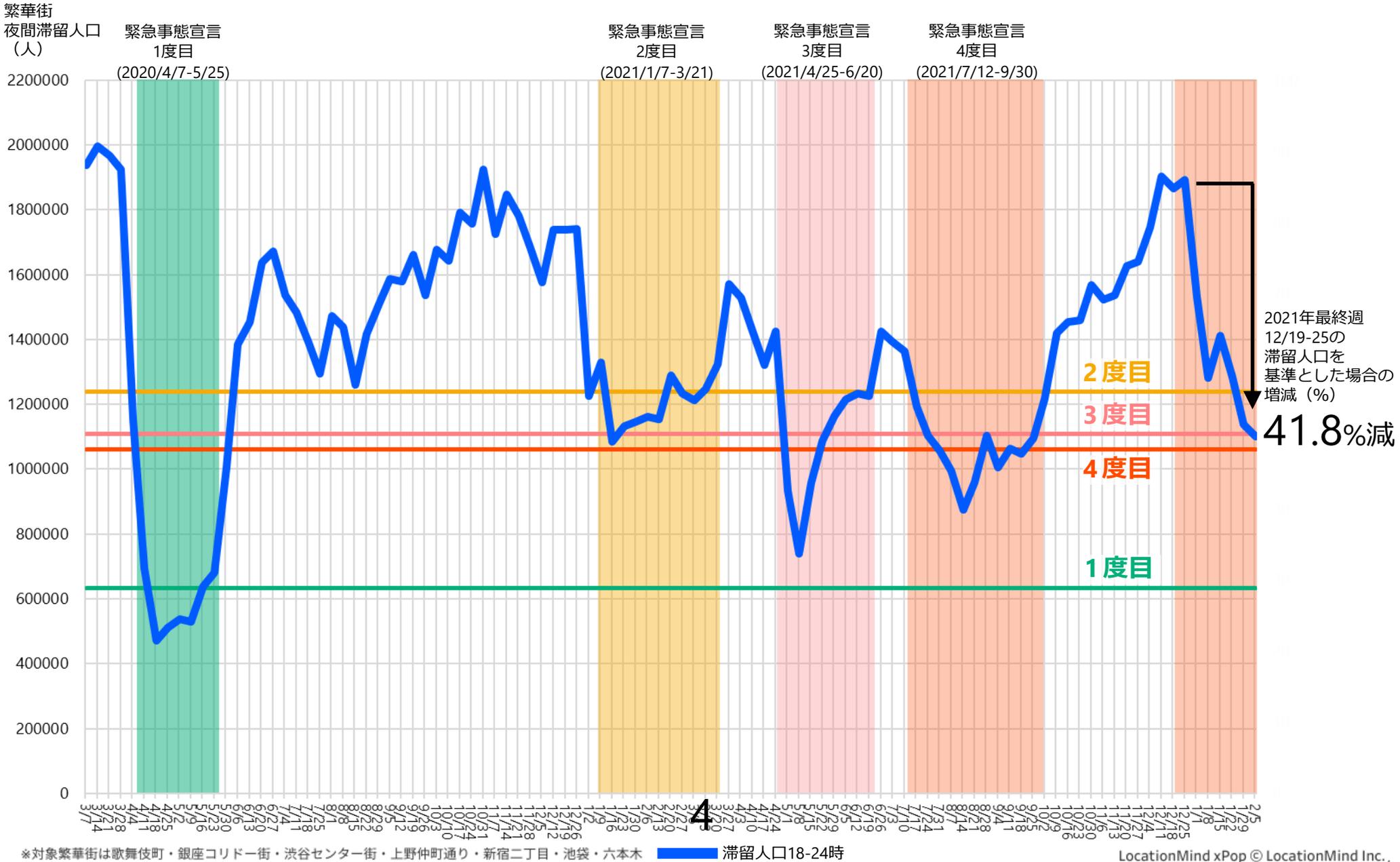
## 【大型ショッピングモール・フードコートの滞留人口】

- 都心部・23区東部・西多摩・北多摩の滞留人口は減少が続いている。23区西部は横ばい。南多摩のみ増加。

# 時間帯別主要繁華街滞留人口の推移 (2020年3月1日～2022年2月5日)

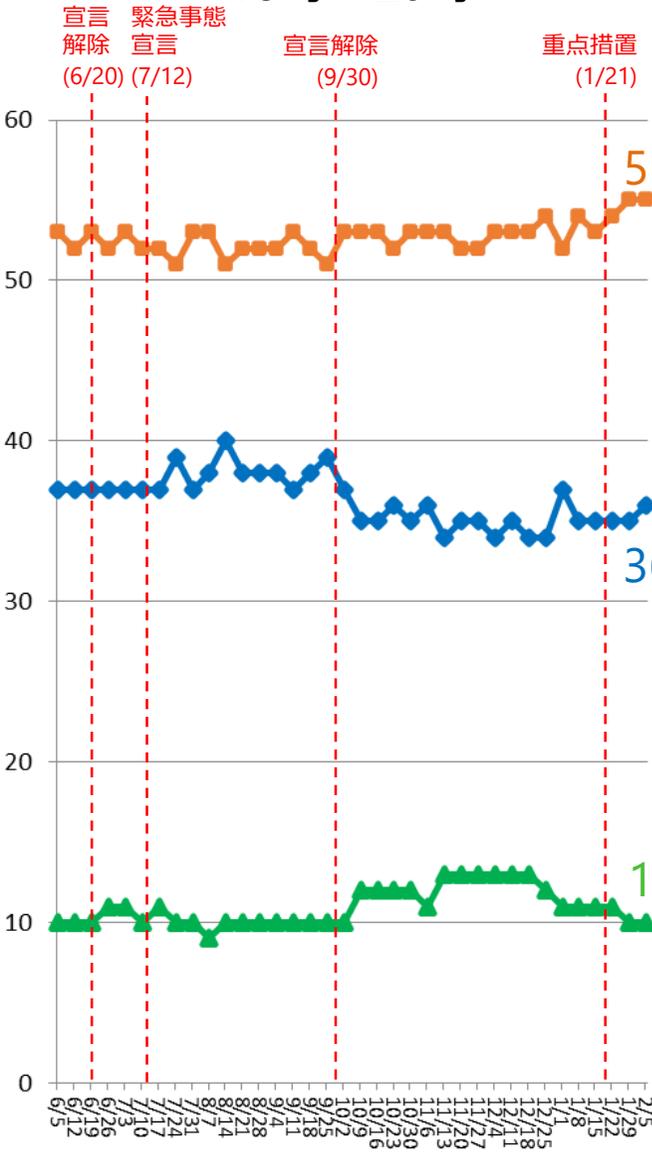


# 緊急事態宣言中の繁華街夜間滞留人口（18-24時）の平均水準 （2020年3月1日～2022年2月5日）

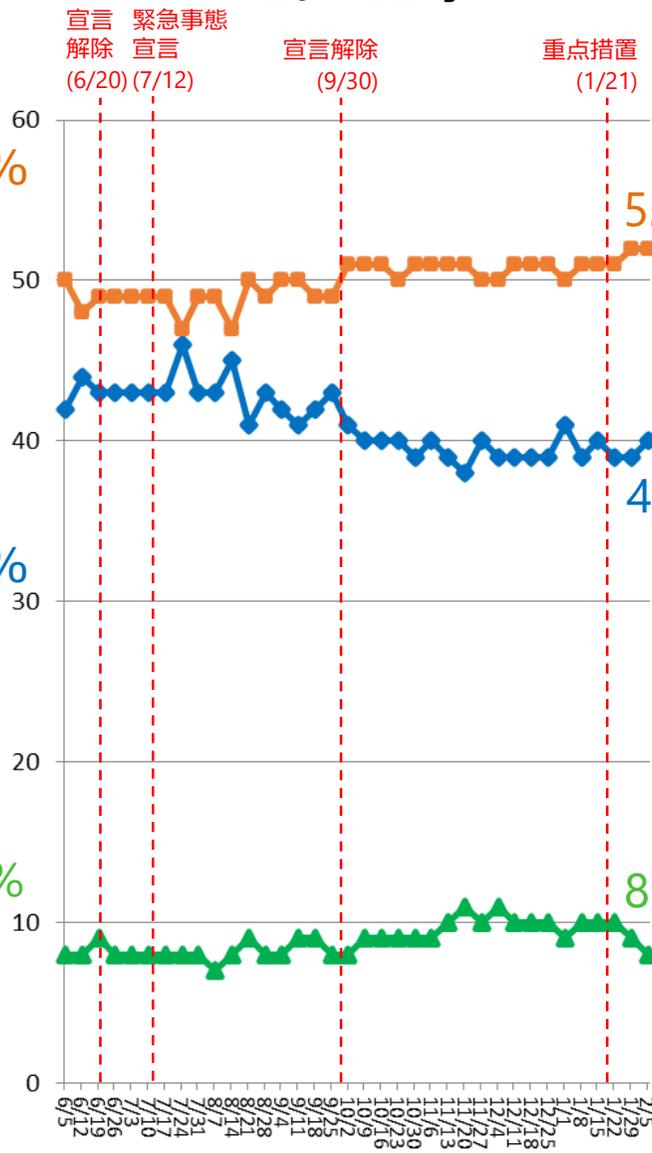


# 都内主要繁華街における夜間滞留人口の年代別占有率（2021年6月1日～2022年2月5日）

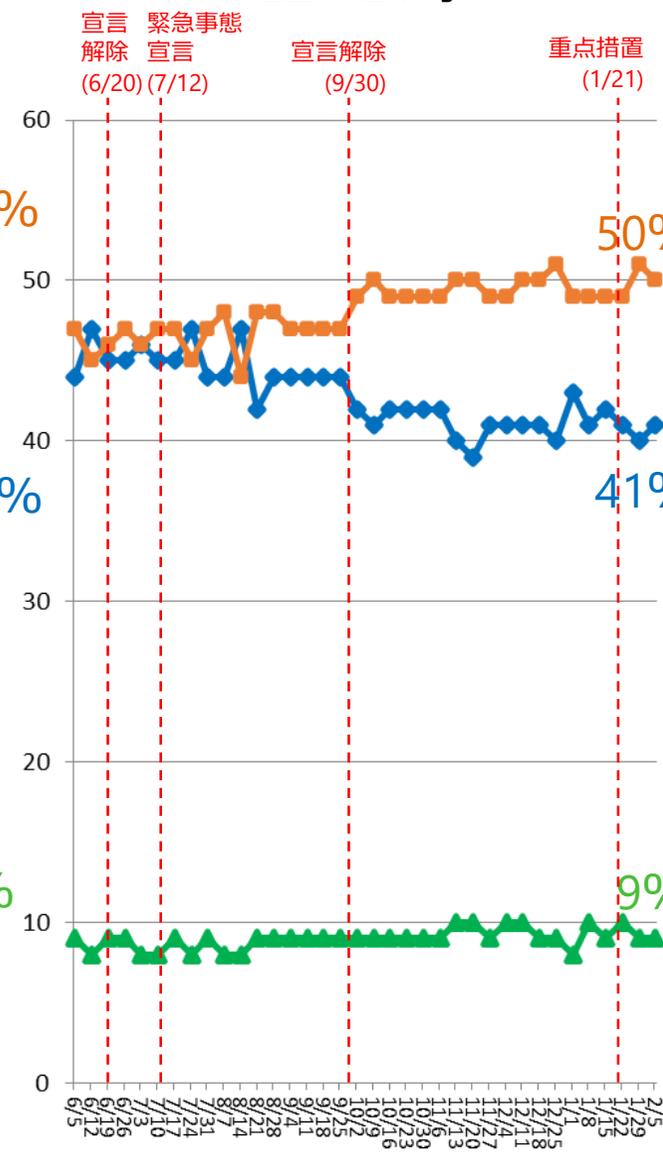
## 18時～20時



## 20～22時



## 22～24時



5

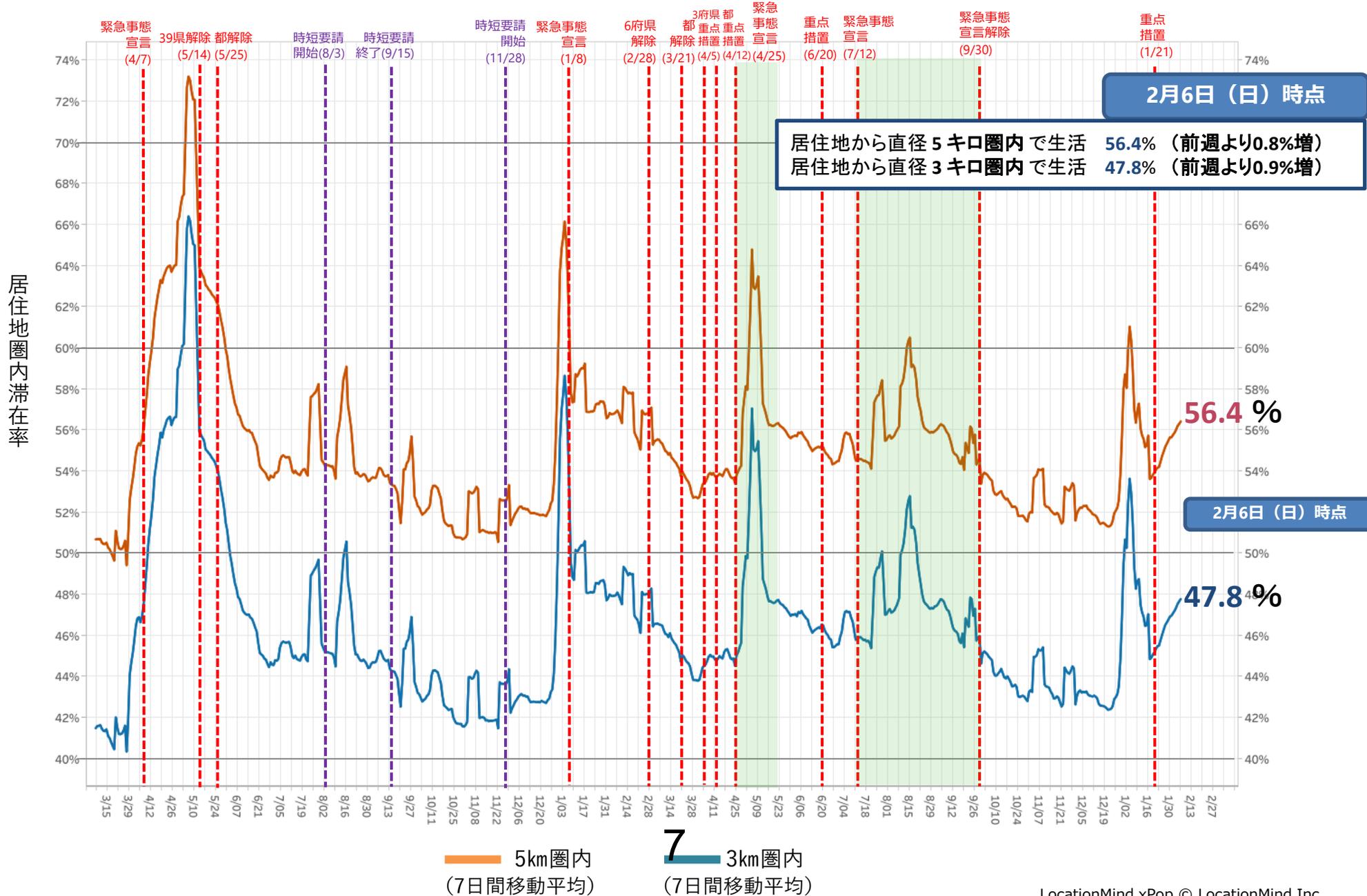
# 年齢別夜間滞留人口推移（22-24時・7日間移動平均：2021年3月7日～2022年2月5日）

対象繁華街：上野・銀座・六本木・渋谷  
新宿二丁目・歌舞伎町・池袋

繁華街  
夜間滞留  
人口（人）



# ステイホーム指標 (2020年3月1日~2022年2月6日) : 東京都内全域



# 都内大型ショッピングセンター内のフードコート滞留人口推移

地域別：2020.1.12-2022.2.6：10-19時（モニタリング対象28施設）



# ハイリスクな時間帯の繁華街滞留人口を正確にとらえる

- GPSの移動パターンから**主要繁華街に遊興目的で**

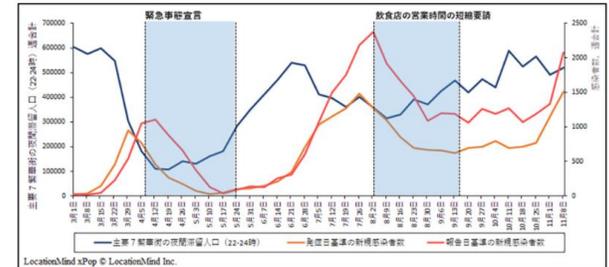
**移動・滞留したデータを抽出 ※**

- ハイリスクな時間帯の滞留人口量を  
1時間単位で推定(500mメッシュ単位)

- LocationMind ⇒ 都医学研

- 夜間滞留人口データとその後の

**新規感染者数、実効再生産数との関連が報告されている ※※**



※GPS移動パターンから職場と自宅の場所を推定した後、職場・自宅以外の15分以上の滞留をレジャー目的としてカウント

LocationMind xPopのデータは、NTTドコモが提供するアプリケーションサービス「ドコモ地図ナビ」のオートGPS機能利用者より、許諾を得た上で送信される携帯電話の位置情報を、NTTドコモが総体的かつ統計的に加工を行ったデータを使用。位置情報は最短5分ごとに測位されるGPSデータ(緯度経度情報)であり、個人を特定する情報は含まれない。

※※ Nakanishi M, Shibasaki R, Yamasaki S, Miyazawa S, Usami S, Nishiura H, Nishida A. On-site Dining in Tokyo During the COVID-19 Pandemic: Time Series Analysis Using Mobile Phone Location Data. *JMIR mHealth and uHealth*, 2021